



## 地域に感謝を

モーモー物産館感謝祭&黒岩城まつり・11/2

No.5

モーモー物産館感謝祭が開催され、多くの来場者でにぎわいました。

会場では新鮮野菜やハンバーガー、アイスクリームなど、口和地域のグルメが数多く販売されました。

来場者からは、「野菜が安く買えてうれしい」「地域のおいしいものが集まるので、この日を楽しみにしていた」といった声が聞かれました。

当日は黒岩城まつりも同時開催され、市の指定史跡文化財である黒岩城址の歴史の紹介などPR活動が行われました。

黒岩城址保存会のメンバーは、「黒岩城址について多くの人に知ってもらいたい」と活動に取り組んでいました。



▲地域のグルメを楽しむ来場者

## 健康について考える一日に

カラダ・ココロ すこやかフェスタ・11/17

No.7

庄原市民会館で「カラダ・ココロすこやかフェスタ」と世界糖尿病デー「ブルーライトアップイベント2019」が開催されました。

健康・体力・認知症チェックのコーナーや、糖尿病・高血圧・食育に関するパネル展示、食育ポスター・小学生絵画コンクールの表彰などが行われました。

また、市立三次中央病院 糖尿病・代謝内分泌内科医長の杉廣貴史医師を講師に迎え、糖尿病に関する講演会も行われました。展示や講演会などを通して、来場者それぞれが健康づくりについて考える一日となりました。

さらに、糖尿病予防の啓発のため11月8日から17日まで庄原赤十字病院と西城市民病院、市役所本庁舎が青色にライトアップされました。



▲健康チェックを受ける来場者

## 火災の無いまちを目指して

秋の防火パレード・11/9-15

No.4

11月9日から15日まで行われた「秋の全国火災予防運動」に伴い、庄原市消防団が方面隊ごとに防火パレードを実施しました。

このパレードは、火災予防の意識をいっそう高め、火災の発生を防ぐことを目的に、毎年火災予防運動期間に合わせて実施しています。

各方面隊は、消防積載車による巡回のほか、地域住民への声掛けなどを行い、火災予防を呼び掛けました。

空気が乾燥し、火災が発生しやすい季節となりました。火の取り扱いには十分注意しましょう。

(関連記事：13 ページ)



▲パレードの様子(口和方面隊)

## 最新の技術を体験

交通安全教室・10/23

No.6

西城体育館横の駐車場で、西城地区高齢者交通安全モデル地区活動推進協議会による交通安全教室が開催され、地域から約20人が参加しました。

この活動は、高齢者の交通事故防止と、住民主体の交通安全活動の促進を目的に実施されています。

今回は庄原警察署総務係長の田原貴実さん、西城交番の妹尾智也さんを迎え、自動ブレーキなどを装備したセーフティ・サポートカーの体験を行いました。参加者はサポートカーに乗り、ブレーキを踏まずに障害物の前で停止する機能を体験しました。

体験者は「テレビで見えてはいたが、実際に体験して驚いた。事故を未然に防止できることは重要だと思う。今後の車購入の参考にしたい」と話していました。



▲サポートカーの機能を体験している様子

## 受け継がれる伝統

東城まちなみぶらり散歩ギャラリー・11/1-5 お通り・11/4

No.1

街道東城路(東城市街地)で「東城まちなみぶらり散歩ギャラリー」が開催されました。街道沿い約600mに、各家の展示や手作り品などが並び、エレクトーンなどによる音楽会が行われました。期間中は着物の観光客などが東城のまちなみに華を添えてくれました。

また、沿道では東城中学校・東城高校生徒によるボランティアガイド「東城応援隊」が、来訪者へ見どころを案内しました。

11月4日には、東城小学校をメイン会場に「お通り」が開催されました。「お通り」は江戸時代から続く伝統行事で、東城五品獄城主の長尾隼人が関ヶ原の戦いの勝利を祝って、神社の祭り行列に武者行列を加えたことが始まりとされています。

サザンカで飾りつけた矢よけの武具「母衣」をはじめ、大名、武者、華童子など総勢約110人からなる行列が市街地を練り歩き、沿道は市内外から訪れた約2万人もの見物客やカメラ愛好家でにぎわいました。



▲大名武者行列と21体の母衣が町並みを歩く(お通り)

▲華やかな衣装のお通り姫



▲見どころを案内する東城応援隊(お通り)

▲酒蔵を利用し音楽会を開催(ギャラリー)

## やまびこ祭で供養牛と初共演

第27回比和やまびこ祭・10/27

No.3

「比和やまびこ祭」と「からだいきいき健康まつり」が、比和総合運動公園で開催され、約3千人が来場しました。祭りのスタートは、地域子どもたちが活躍するロードレース。一生懸命走る子どもたちに、たくさんの応援の声が上がりました。また、比和中学校生徒による比和牛供養田植の披露では、実際に使われる供養牛も登場し来場者を楽しませました。

その後も吾妻太鼓のステージや、全日本チャンピオンによるトライアルスーパーデモ(バイクで岩や急斜面を駆け上がるモータースポーツ)などが続きました。

さらにギタリストとして県内を中心に活躍中の森本ケンタさんによるステージショーでは、柔らかく繊細なギターの色に来場者は聞き入っていました。



▲供養牛が登場した比和牛供養田植の披露

## 花と緑のまちづくりを目指す

ガーデン大学2019・10/18、26、11/9

No.2

庄原観光いちばん協議会が主催する、ガーデニングファンの裾野を広げることを目的とした、花と緑に親しむ「ガーデン大学」が開催されました。

10月18日は世界で活躍中の石原和幸さんから庭作りのコツやガーデンショーでの体験談を聞き、10月26日は暮らしのアトリエ 大谷朱美さんからバラやハーブを生活に取り入れる活用術、11月9日は福山ばら会 石井総さんからバラの育て方を学びました。

講座終了後も、参加者から質問が次々に飛び出し、講師の方も解説に熱が入っている様子でした。

同協議会はほかにも、市内学校での緑化活動のパネル展示など、さまざまな活動を通じて、花と緑のまちづくりを推進しています。



▲植物の活用について解説する大谷さん



## 火事に気をつけて

高野保育所園児が防火パレード・11/13

No.9

市役所高野支所周辺で、庄原消防署高野出張所と高野保育所幼年消防クラブによる「防火パレード」が開催されました。

これから寒い季節を迎え、火を使う機会が増えることから、地域の火災予防の意識を高めるため、毎年実施されています。

当日、高野出張所の消防車に先導され、高野保育所を出発した3歳から5歳までの園児30人は、「火の用心」と声を掛けながら町中を一周しました。

途中の保健福祉センターと市役所高野支所ではダンスを踊り、全員で「僕たち私たちは、火遊びはしません」などの防火の誓いを、大きな声で約束しました。



▲高野支所前でダンスする園児たち

## 地元を懐かしむ

ひろしま備北会総会・10/13

No.8

第68回ひろしま備北会総会が総領自治振興センターで開催され、県内外から64人が参加しました。

ひろしま備北会は、広島市とその近郊に住む、庄原市出身者が集まって組織されており、会員相互の親睦を図ること、郷土の交流発展に寄与することを目的としています。

総会後半には、ひろしま備北会から庄原市へ車椅子が寄付され、贈呈式が行われました。

多くの会員が市外在住のため、久しぶりに訪れた地元を懐かしんでいました。

ひろしま備北会は随時会員を募集しています。

問い合わせ 幹事長 石田寛浩 (☎082-843-1312)



▲総会の様子

## まちなかの歴史を学ぼう!

第3回しょうばら蔵ゼミ in 楽笑座・10/27

No.11

庄原まちなか協議会は、まちなかの「ひと」という資源に注目し、その「ひと」の得意分野を発信するイベント「蔵ゼミ」を、楽笑座で開催しています。

今回は、庄原自治振興区と協力し「まちなかの歴史散策」を開催しました。

奥田虎昭さんの案内で「楽笑座」から出雲街道や備中伯耆路などの旧街道を散策しながら、宝蔵寺宝篋印塔や、明治時代に建てられた庄原英学校などの歴史を学びました。

参加者からは「知らない歴史や文化を知ることができ、とても楽しかった」「次回は違うコースも歩いてみたい」といった感想が聞かれ、庄原市の貴重な歴史の一面に触れる一日になりました。



▲丑寅神社の歴史に耳を傾ける参加者

## ほっこり原画展

絵本原画展・10/19-25

No.10

東城自治振興センターで22回目となる絵本原画展が開催されました。

本年は、「ふじもとしろの世界」と題して、絵本作家の藤本四郎さんの絵本「ねずみのえんそく もぐらのえんそく」の原画や、藤本さんがアニメ製作に携わった「まんが日本昔ばなし」の絵コンテ、キャラクターデザイン資料、風景画などが展示されました。期間中は多くの方が来場し、めったに見られない温かみのある作品を鑑賞しました。

また、10月23日、東城中学校で「アニメの世界から絵本作家へ」と題し、講演が行われました。講演では藤本さんがアニメ製作現場から絵本作家を目指した経緯などが語られ、生徒は熱心に聞いていました。



▲中学生の前で、自身の経験を語る藤原さん